

外部委託による M E センターの機器管理の効果

谷口 了、田中 啓一 アイメック株式会社

1 . はじめに

近年の医療機器は目覚まし発展を遂げ、診断・治療などの医療の重要な役割を担うまでになり、多種多様な医療機器が医療機関内に配置されるようになった。

しかし、一方ではこのような優れた医療機器を操作および保守が適切に行わなければ、効果的な医療を行うことができなくなるばかりか、生命の維持にまで大きく影響を受ける危険性も伴うことになってきている。

多くの医療機関において、医療機器の保守点検や情報収集が特定の部署で管理されている医療機関が少ないのが現状である。

医療機器を安全且つ効率的に使用するためには、適切な環境の中で、正しい操作を行うだけでなく、特定の部署においてその機器の性能を維持管理することが強く求められる。

2 . 医療機関の保守点検・管理の現状

- ・ 医療機器の管理部門の設置状況
- ・ 医療機能評価における調査項目
- ・ 行政機関における今後の対応

3 . M E センターの業務と役割

- ・ 医療機器に関する情報の収集
- ・ 購入の際における機種を選定支援
- ・ 機器の保守管理業務
- ・ 医療従事者に対する講習
- ・ 臨床現場からの情報収集

4 . M E センターの実施事例

- ・ 横浜労災病院における業務受託事例紹介
- ・ その他受託医療機関

5 . アウトソーシングに向けて

- ・ M E センター内における役割及び業務
- ・ 委託業者の法的基準

6 . アウトソーシングの課題

- ・ 製造業者と受託業者との関係
- ・ 委託契約と派遣契約との相違